

## 平成21年9月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年2月12日

上場会社名 株式会社まんだらけ  
 コード番号 2652 URL <http://www.mandarake.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東

(氏名) 古川 益蔵  
 (氏名) 川代 浩志

TEL 03-3228-0007

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年9月期第1四半期の業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	1,818	13.5	88	8.7	56	11.7	30	△71.9
20年9月期第1四半期	1,602	7.6	81	△42.8	50	△58.0	107	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	8,156.25	—
20年9月期第1四半期	26,670.32	—

## (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円		%	円 銭
21年9月期第1四半期	8,697	2,673	2,673	2,651	30.7	726,365.85	
20年9月期	8,575	2,651	2,650	2,650	30.9	720,213.58	

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 2,673百万円 20年9月期 2,650百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年9月期	—	—	—	2,000.00	2,000.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	—	—	2,000.00	2,000.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年9月期の業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,479	—	180	—	104	—	58	—	14,460.53
通期	7,225	2.0	374	△10.4	218	6.7	120	△33.7	30,033.02

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年9月期第1四半期	4,020株	20年9月期	4,020株
② 期末自己株式数	21年9月期第1四半期	339株	20年9月期	339株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年9月期第1四半期	3,681株	20年9月期第1四半期	4,012株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、原油をはじめとした資源価格は落ち着きを取り戻したものの米国のサブプライムローン問題を発端とした国際金融市場の混乱と米国企業の大型破たん、さらには為替の急激な変動等の影響を受けて景気は後退色を強め、雇用不安、個人消費の伸び悩みなど、先行きは不透明なまま推移いたしました。

当社が関わるまんが、アニメ関連業界及び古本業界におきましては、景気の影響が比較的、軽微にとどまる数少ない業界として企業の新規参入意欲は持続されており、企業間の競争は国内外を問わず激化しております。

このような経済環境におきまして、当社はこれまでの方針を継続し、全事業にわたり積極的な営業活動を展開するとともに、経営の効率化と経営基盤の強化安定に努めてまいりました。

その結果当第1四半期会計期間の売上高は、移転のうえ大型化いたしました名古屋店、グランドカオス、コンプレックスの通期売上高も加えて1,818百万円(前年同期比13.5%増)となりました。利益面では大型新店舗の増加経費も一巡して安定したことによって営業利益で88百万円(前年同期比8.7%増)となり、借入金の返済進捗による支払利息等の減少から経常利益で56百万円(前年同期比11.7%増)となりました。なお、前年同期に計上のあった名古屋旧店舗の固定資産売却益が当期においては該当なきため四半期純利益は30百万円(前年同期比71.9%減)となりました。

品目別では、世界的に拡大を続ける同人誌市場を反映して「同人誌」は470百万円(対前年同期比6.7%増)となりました。また、まんが、アニメーション関連に留まらない商品の多様性を見せて、幅広いニーズを獲得する「TOYS」の売上高は433百万円(対前年同期比31.2%増)となりました。さらに、新作とともに旧作の復刻などが相次ぐ日本のまんがに関連する商品が、一層好調に推移し「本」の売上高は410百万円(対前年同期比6.7%増)となりました。加えて、久々の大型ヒット作品が誕生した日本のアニメーションに対する人気の向上によってセル画、CD、DVD等を含む「その他」品目の売上高は496百万円(対前年同期比12.7%増)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前会計期間末に比べ115百万円増加し、当第1四半期末には327百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、139百万円となりました。これは主に税引前当期純利益で56百万円、減価償却費45百万円、その他の流動資産の減少176百万円が、支出におけるたな卸資産の増加175百万円、法人税等の支払額16百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、44百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出が45百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、21百万円となりました。これは主に、短期借入による収入880百万円が長期及び短期借入金の返済による支出を、上回ることによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

当期も、日本の誇る文化としてのまんが、アニメーションを世界に向けて発信すべく、営業活動を進めてまいります。さらにまんが、アニメーション関連に限らず、あらゆる中古品に対し、その商品価値を追求し新たな市場を開拓してまいります。

当社は、引き続き既存店舗での営業強化を図り、また今後も大都市圏を中心に店舗網の拡充を積極的に推進してまいります。

ホームページにおきましては、国内、国外を問わず様々な情報をもとにWeb上販売活動を積極的に推進し、Web通販と通年で毎日開催するオークション販売、さらに当社が選りすぐった商品を集めました大オークション大会を年間4回開催することにより、売上高と利益双方の拡大を目指してまいります。これらのWeb上における情報の発信及び収集によって、全世界のマニアのお客様の満足度を高め、同時に新たなマニア層を拡充いたしてまいります。

このような販路拡大の継続、拡大とともに、まんだらけの最大の特徴である商品の買い取りのノウハウも、さらに幅広く多方面に目を向けることによって、あらゆるサブカルチャーのメインカルチャー化を図り、未だ価値の見出されていない商品を当社が取り扱うことで、社会的なステイタスを創造すべく努めてまいります。

当社は今後もまんが、アニメーションに関連する商品を中心に、新たな商品の取り扱いも積極的に推進し、企業利益の増大を図っていく方針であります。

なお、業績予想につきましては、平成20年11月14日に発表いたしました「平成20年9月期決算短信(非連結)」に記載のとおり、売上高7,225百万円、営業利益374百万円、経常利益218百万円、当期純利益120百万円と変更ありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 四半期財務諸表に関する会計基準

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価に関する会計基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、売価還元法による低価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、売価還元法による低価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。

なお、これにより営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 【四半期財務諸表】  
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	340,242	224,501
受取手形及び売掛金	112,420	103,312
商品及び製品	3,584,001	3,408,372
仕掛品	907	616
原材料及び貯蔵品	28,354	28,354
繰延税金資産	162,756	170,221
その他	109,009	283,271
貸倒引当金	△1,072	△1,072
流動資産合計	4,336,618	4,217,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,481,954	2,479,478
減価償却累計額	△915,306	△879,763
建物及び構築物(純額)	1,566,648	1,599,714
土地	2,175,269	2,175,269
その他	561,335	559,452
減価償却累計額	△468,075	△460,014
その他(純額)	93,260	99,438
有形固定資産合計	3,835,178	3,874,422
無形固定資産	57,626	14,197
投資その他の資産		
投資有価証券	42,039	42,019
差入保証金	319,147	323,647
繰延税金資産	69,652	65,564
その他	64,861	65,533
貸倒引当金	△27,914	△28,014
投資その他の資産合計	467,786	468,751
固定資産合計	4,360,591	4,357,371
資産合計	8,697,210	8,574,950

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,512	31,837
短期借入金	2,525,000	2,400,000
1年内返済予定の長期借入金	813,150	829,345
1年内償還予定の社債	98,500	98,500
未払法人税等	141,653	114,695
賞与引当金	11,168	40,069
その他	209,627	161,543
流動負債合計	3,846,611	3,675,991
固定負債		
社債	1,226,750	1,230,500
長期借入金	816,550	892,700
退職給付引当金	133,545	124,652
固定負債合計	2,176,845	2,247,852
負債合計	6,023,457	5,923,844
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	837,440	837,440
資本剰余金	1,117,380	1,117,380
利益剰余金	851,262	828,601
自己株式	△132,712	△132,712
株主資本合計	2,673,370	2,650,709
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	381	396
評価・換算差額等合計	381	396
純資産合計	2,673,752	2,651,106
負債純資産合計	8,697,210	8,574,950

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,818,810
売上原価	909,098
売上総利益	909,712
販売費及び一般管理費	821,005
営業利益	88,706
営業外収益	
受取利息	89
その他	6,060
営業外収益合計	6,150
営業外費用	
支払利息	26,360
社債利息	6,084
その他	6,023
営業外費用合計	38,468
経常利益	56,388
特別利益	
貸倒引当金戻入額	100
特別利益合計	100
税引前四半期純利益	56,488
法人税、住民税及び事業税	23,078
法人税等調整額	3,386
法人税等合計	26,464
四半期純利益	30,023

(3)【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位:千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税引前四半期純利益	56,488
減価償却費	45,851
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△28,901
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,892
受取利息及び受取配当金	△133
支払利息	32,445
為替差損益(△は益)	566
売上債権の増減額(△は増加)	△9,107
たな卸資産の増減額(△は増加)	△175,918
仕入債務の増減額(△は減少)	15,675
その他	192,429
小計	138,188
利息及び配当金の受取額	89
利息の支払額	△14,685
法人税等の支払額	16,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	139,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
有形固定資産の取得による支出	△4,360
無形固定資産の取得による支出	△45,000
その他	4,500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	880,000
短期借入金の返済による支出	△755,000
長期借入金の返済による支出	△92,345
社債の償還による支出	△3,750
配当金の支払額	△7,362
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,543
現金及び現金同等物に係る換算差額	△566
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	115,740
現金及び現金同等物の期首残高	212,001
現金及び現金同等物の四半期末残高	327,742

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。



「参考」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期損益計算書

科 目	前第1四半期会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 売上高	1,602,967
II 売上原価	785,757
売上総利益	817,210
返品調整引当金戻入額	264
差引売上総利益	817,474
III 販売費及び一般管理費	735,839
営業利益	81,634
IV 営業外収益	4,484
V 営業外費用	35,633
経常利益	50,485
VI 特別利益	140,624
VII 特別損失	5,584
税引前第1四半期(当期)純利益	185,525
法人税、住民税及び事業税	72,253
法人税等調整額	6,263
第1四半期純利益	107,008

(2) 四半期キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第1四半期会計期間 (自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日)
	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第1四半期純利益	185,525
減価償却費	36,046
退職給付引当金の増加額	8,505
賞与引当金の減少額	△27,586
返品調整引当金の減少額	△264
貸倒引当金の減少額	△100
受取利息及び受取配当金	△999
支払利息	33,289
為替差損	10
有形固定資産売却益	△142,953
有形固定資産除却損	5,584
売上債権の減少額	1,327
たな卸資産の増加額	△155,986
仕入債務の増加額	8,059
その他の流動資産増加額	△33,514
その他の固定資産減少額	905
その他の流動負債減少額	△57,873
その他の固定負債減少額	△2,666
未払消費税等の減少額	△22,903
未収消費税等の減少額	15,701
小計	△104,085
利息及び配当金の受取額	955
利息の支払額	△18,026
法人税等の支払額	△80,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	△201,331
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△230,795
有形固定資産の売却による収入	433,289
その他の投資の取得による支出	△110
その他の収入	1,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	303,658
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	950,000
短期借入金の返済による支出	△500,000
長期借入金の返済による支出	△96,499
社債の償還による支出	△3,750
配当金の支払額	△9,952
自己株式の取得	△16,042
財務活動によるキャッシュ・フロー	323,756
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△10
V 現金及び現金同等物の増加額	426,073
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,078,376
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,504,449